

大学・高専機能強化支援事業
(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【支援2大学】
事業概要

令和5年7月時点

選定年度	令和5年度	学校コード	F133110109503
大学名	岡山大学	設置区分	国立
学校種	大学	都道府県	岡山県
申請形態	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）		

1.事業概要

入学前から情報工学分野への進路を希望し明確に大学院進学を意図している学生を対象に、**情報工学先進コース**及び大学院環境生命自然科学専攻数理情報科学学位プログラム計算機科学コースを通じた**6年一貫教育プログラム**を実施し、情報工学分野の深い知識と実践力に加え、視野の広さと思考の柔軟さを身に付け、社会課題を発見・解決できる高度情報人材を養成する。そのために、学部の情報工学先進コースでは、既設科目に加えて必修科目「情報工学入門」「情報工学探求」「実践プログラミング」を配置し、大学院の計算機科学コースにおいては、既設科目に加えて選択必修科目「高度実践プログラミング」「実践学術表現」を配置する。本事業は現在の企業ニーズと今後のデジタル化社会に求められる高度情報人材を養成するものであり、**実践型科目**を取り入れた**6年一貫教育プログラム**を通して、社会が情報人材に求める**マネジメントスキル、コミュニケーションスキル、先端技術情報スキル**を修得させるものである。

2.基本情報

大学全体の収容定員数等の変化（予定）

		博士課程	修士課程	大学院計	学士課程
大学全体の情報系組織の収容定員	増員前	99	278	377	760
	増員後	99	358	457	920
	増分	0	80	80	160
大学のお全組織の収容定員	増員前	932	1,578	2,510	
	増員後	932	1,658	2,590	
情報系組織の収容定員の占める割合	増員前	10.6%	17.6%	15.0%	
	増員後	10.6%	21.6%	17.6%	
	増分	0.0%	4.0%	2.6%	

※正規課程の人数

※令和5年5月1日時点

改組・増員前の組織情報

課程		組織名	入学定員	収容定員	改組時期・内容
博士	情報系	環境生命自然科学研究科環境生命自然科学専攻（先進理工科学学位プログラム）	33	99	
		計	33	99	
	情報系以外	計	0	0	
修士	情報系	環境生命自然科学研究科環境生命自然科学専攻（数理情報科学学位プログラム）	139	278	R10増員
		計	139	278	
	情報系以外	計	0	0	
学士	情報系	工学部工学科（情報・電気・数理データサイエンス系）	190	760	
		計	190	760	
	情報系以外	工学部工学科（機械システム系、環境・社会基盤系、化学・生命系）	420	1680	R6減員
		計	420	1680	

※情報系組織の改組・増員に関わる組織のみを記入。コース等で実施の場合はコース等単位で記入。

※学士の入学定員には編入入学定員を含む。

改組・増員後の組織情報（予定）

課程		組織名	入学定員	収容定員	改組時期・内容	所在地
博士	情報系	環境生命自然科学研究科環境生命自然科学専攻（先進理工科学学位プログラム）	33	99		岡山県岡山市
		計	33	99		
		改組前との差	0	0		
	情報系以外	計	0	0		
		改組前との差	0	0		
修士	情報系	環境生命自然科学研究科環境生命自然科学専攻（数理情報科学学位プログラム）	179	358	R10増員	岡山県岡山市
		計	179	358		
		改組前との差	40	80		
	情報系以外	計	0	0		
		改組前との差	0	0		
学士	情報系	工学部工学科（情報・電気・数理データサイエンス系）	190	760		岡山県岡山市
		工学部工学科（情報工学先進コース）	40	160	R6設置	岡山県岡山市
		計	230	920		
		改組前との差	40	160		
	情報系以外	工学部工学科（機械システム系、環境・社会基盤系、化学・生命系）	410	1640	R6減員	岡山県岡山市
		計	410	1640		
		改組前との差	-10	-40		

改組・増員後の情報系組織の学位分野（予定）

課程	組織名	学位分野（主なもの6つまで）				
博士						
修士	環境生命自然科学研究科環境生命自然科学専攻（数理情報科学学位プログラム）	理学関係	工学関係			
学士	工学部工学科（情報工学先進コース）	工学関係				

< 基本情報 >

改組内容：研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員

情報系組織名：＜学士＞工学部工学科（情報工学先進コース）

＜修士＞環境生命自然科学研究科環境生命自然科学専攻（数理情報科学学位プログラム）

情報系組織の入学定員：＜学士＞【R6新設】改組後40名

＜修士＞【R10増員】改組前139名 → 改組後179名

所在地：岡山県岡山市

< 新設や改組の特徴・コンセプト >

入学前から情報工学分野への進路を希望し明確に大学院進学を意図している学生を対象に、情報工学先進コース及び大学院環境生命自然科学専攻数理情報科学学位プログラム計算機科学コースを通じた6年一貫教育プログラムを実施し、情報工学分野の深い知識と実践力に加え、視野の広さと思の柔軟さを身に付け、社会課題を発見・解決できる高度情報人材を養成する。

< 改組後の教育内容 >

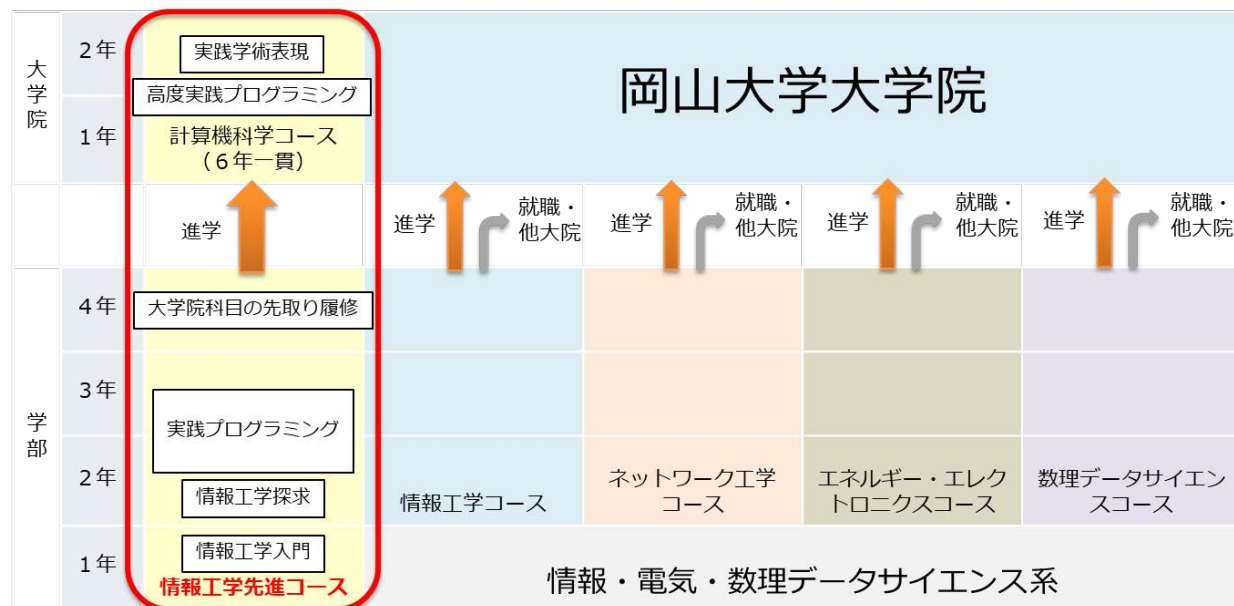
学部の情報工学先進コースでは、既設科目に加えて必修科目「情報工学入門」「情報工学探求」「実践プログラミング」を配置する。それぞれ、「入学後の早い段階で情報工学分野の最新研究に触れて学習意欲を高める」「研究室活動への参加を通して課題発見・解決のための思考法を学ぶ」「チームによるプログラミングコンテスト参加を通して実践力・協調性・リーダーシップを育む」ことを狙いとする。大学院の計算機科学コースにおいては、既設科目に加えて選択必修科目「高度実践プログラミング」「実践学術表現」を新たに配置する。前者は専門分野に関するコンテスト参加等の高度実践活動を行う科目であり、後者は研究成果を英語論文にまとめて国際学術誌等に投稿する科目である。こうした教育は、『DX白書2023』（独立行政法人情報処理推進機構）で明らかにされたDXを推進する人材が不足している現在の企業ニーズにこたえ、今後のデジタル化社会に求められる高度情報人材を養成するものであり、実践型科目を取り入れた6年一貫教育プログラムを通して、社会が情報人材に求めるマネジメントスキル、コミュニケーションスキル、先端技術情報スキルを修得させるものである。

低年次から情報工学分野の先端研究に触れる

実践型科目により実践力やチームワーク力を育む

大学院進学を前提とした6年一貫教育プログラム

推薦入試を利用した大学院への進学



※新設科目のみ記載